

# 調剤報酬における届出・実績調査 報告書

---

一般社団法人 日本保険薬局協会  
医療制度検討委員会

2020年12月



調査 1 : 厚生局届出データを調査

調査 2 : NPhA正会員企業へのWeb調査

# 調査1 概要

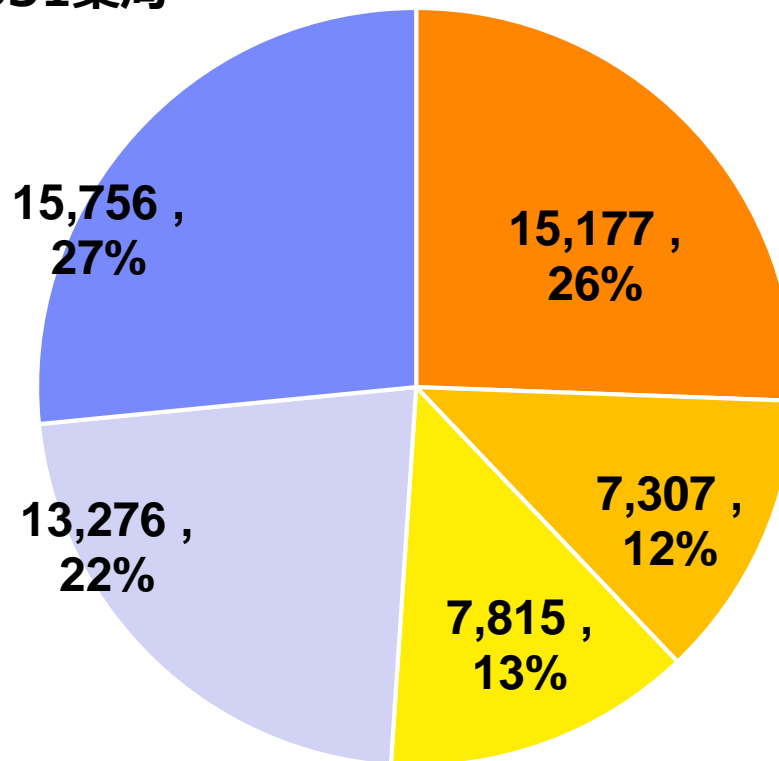
---

- 目的：厚生局届出状況の実態を調査するため
- 内容：改定前後（2020年3月と9月）の届出状況の調査
- 方法：厚生局届出データより調査
- 実施主体：NPhA 医療制度検討委員会

# 調剤薬局規模別構成比

約59,000軒の調剤薬局のうち、5薬局以下の企業、薬局が約50%を占めている。

**全国**  
**59,331薬局**



■ 100薬局以上 ■ 20～99薬局 ■ 6～19薬局 ■ 2～5薬局 ■ 1薬局

▶ 2020年9月時点 NPhA調べ

# 規模別 届出状況 – 2020年9月 –

薬局・薬剤師の機能であるGE使用促進、かかりつけ薬剤師および在宅推進においては、規模が大きな企業の方が積極的な取り組み状況が伺える。特に在宅においては、その実績の差は大きく開いている。

規模分類	薬局数	調剤基本料			地域支援体制	GE変更率 <sup>*2</sup>		かかりつけ薬剤師届出	在宅年間10件以上 <sup>*3</sup>
		1	2	1、2以外 <sup>*1</sup>		80%以下	80%以上		
100薬局以上	15,177	9,755	72	5,350	4,405	4,301	10,876	8,953	6,460
	構成比	64.3%	0.5%	35.3%	29.0%	28.3%	<b>71.7%</b>	<b>59.0%</b>	<b>42.6%</b>
20-99薬局	7,307	5,348	184	1,775	2,775	2,438	4,869	4,797	3,403
	構成比	73.2%	2.5%	24.3%	38.0%	33.4%	<b>66.6%</b>	<b>65.6%</b>	<b>46.6%</b>
6-19薬局	7,815	7,209	486	120	3,198	2,729	5,086	4,669	2,752
	構成比	92.2%	6.2%	1.5%	40.9%	34.9%	65.1%	59.7%	35.2%
2-5薬局	13,276	12,459	651	166	4,450	4,766	8,510	7,125	3,367
	構成比	93.8%	4.9%	1.3%	33.5%	35.9%	64.1%	53.7%	25.4%
1薬局	15,756	14,575	479	702	3,692	7,348	8,408	6,954	2,596
	構成比	92.5%	3.0%	4.5%	23.4%	46.6%	53.4%	44.1%	16.5%
全国	59,331	49,346	1,872	8,113	18,520	21,582	37,749	32,498	18,578
	構成比	83.2%	3.2%	13.7%	31.2%	36.4%	<b>63.6%</b>	<b>54.8%</b>	<b>31.3%</b>

▶ 2020年9月時点 厚生局届出情報よりNPhA集計

▶ \*1 調剤基本料3イ、ロおよび特別基本料の薬局数

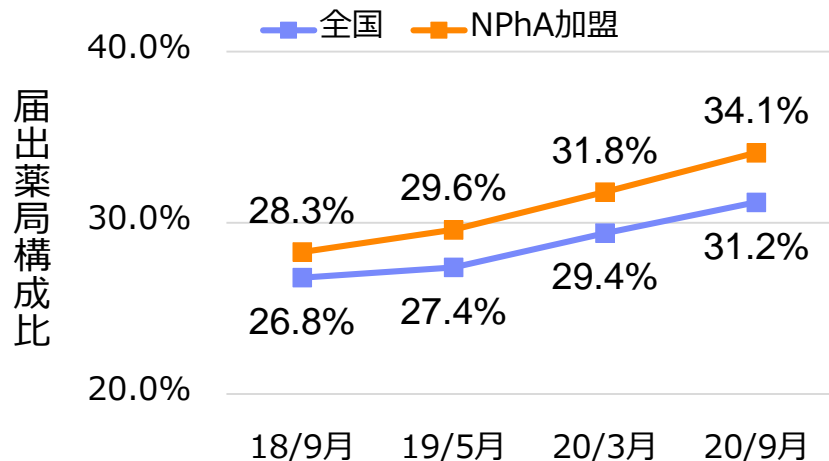
\*2 80%以上は、GE調剤体制加算2もしくは3の届出している薬局数、80%以下は同加算1の届出している薬局もしくは、届出していない薬局数

\*3 在宅調剤加算の届出をしている薬局数

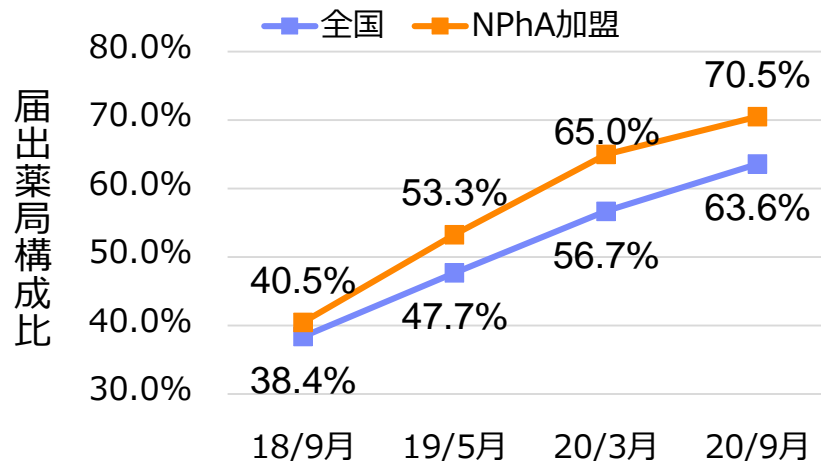
# NPhA加盟企業 届出状況

NPhA加盟企業では、4つの届出すべてにおいて構成比を伸ばしており、全国平均も上回った。  
 今後も、引き続き、薬局・薬剤師の機能を強化、推進する上での課題調査や、その解決に注力していく。

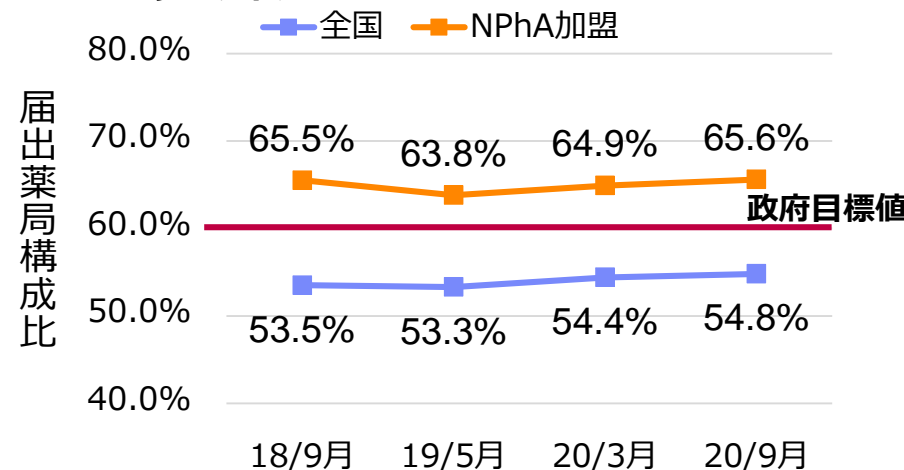
## ■ 地域支援体制加算届出



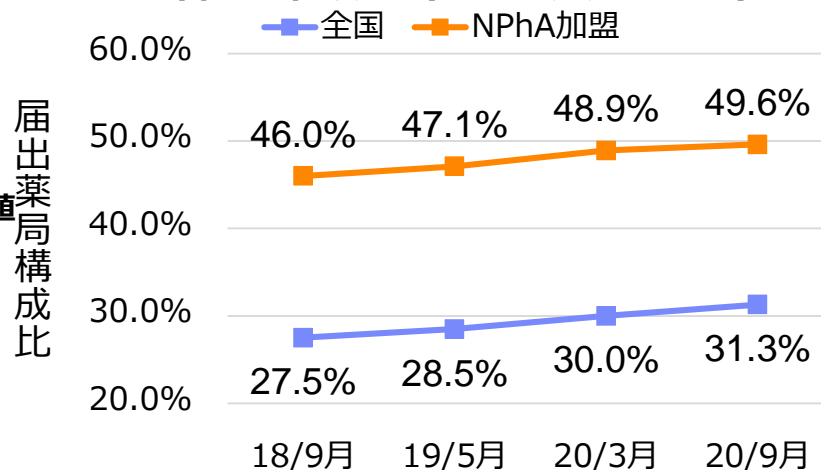
## ■ GE変更率80%以上 (GE加算2・3届出)



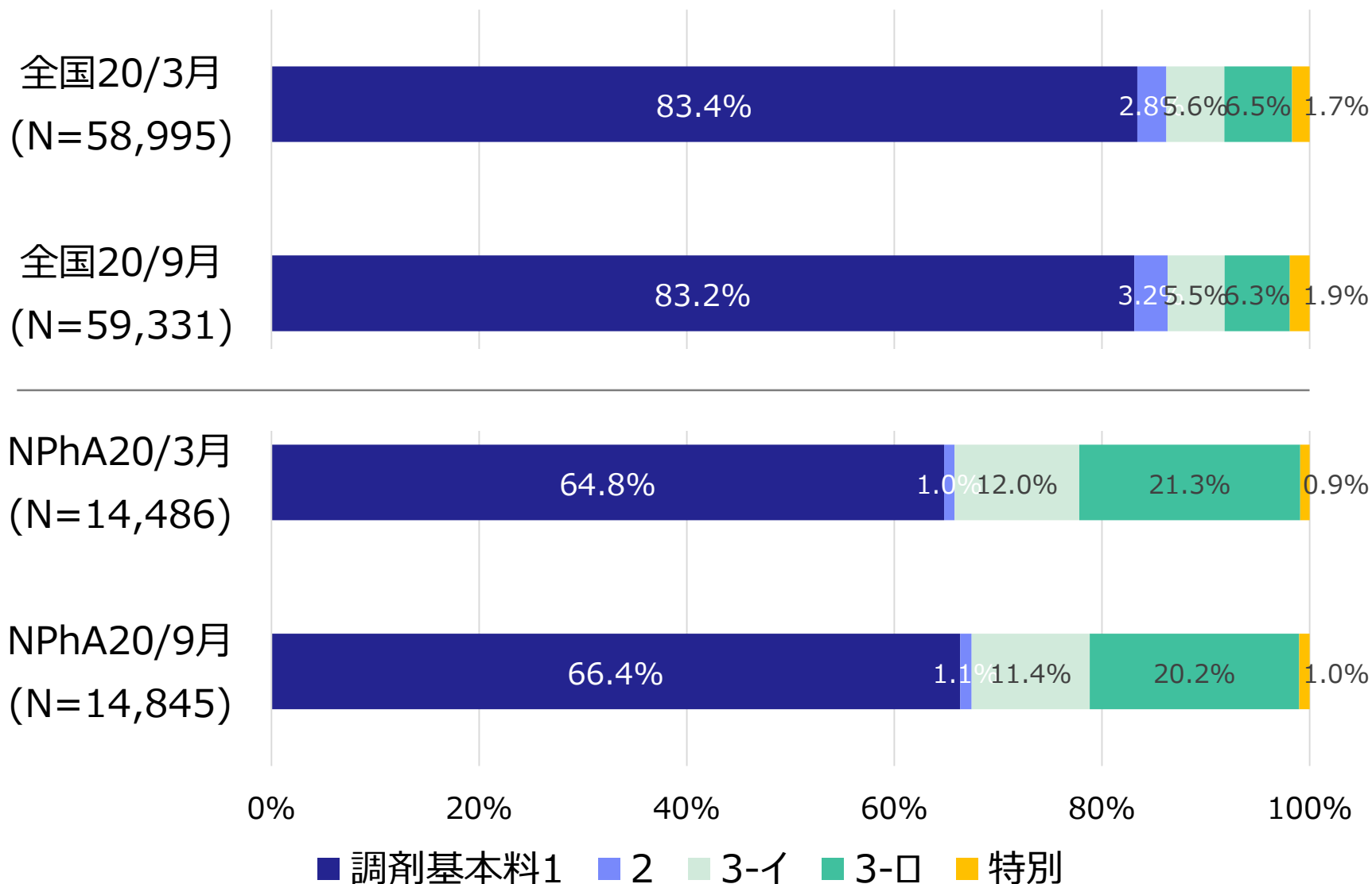
## ■ かかりつけ薬剤師届出



## ■ 在宅年間10件以上 (在宅調剤加算届出)



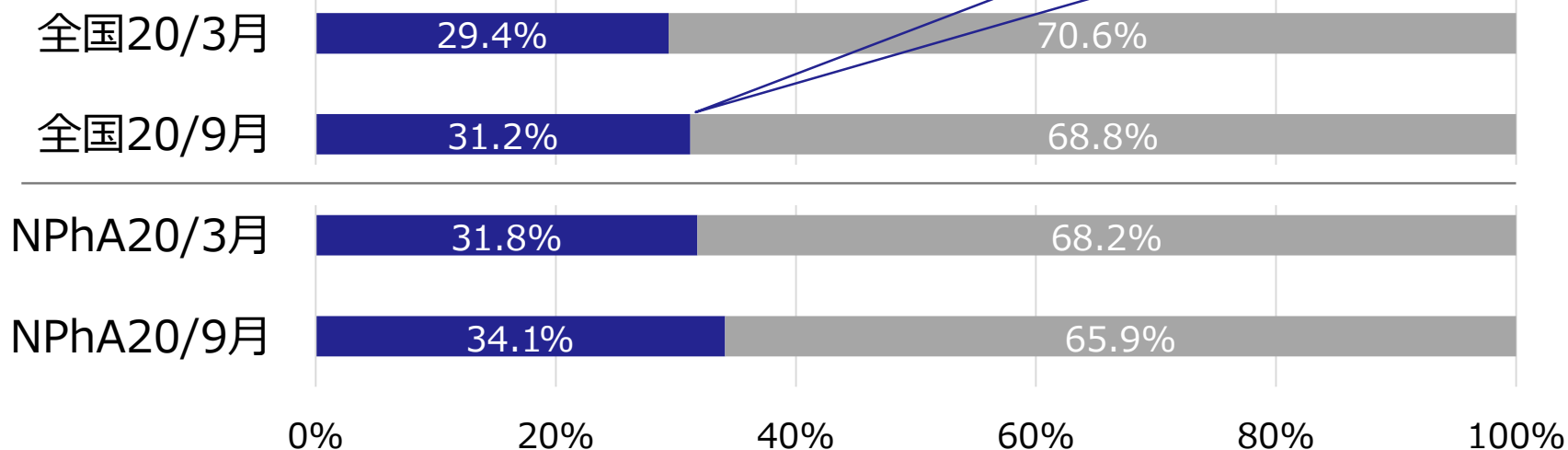
# 改定前後比較 -調剤基本料-



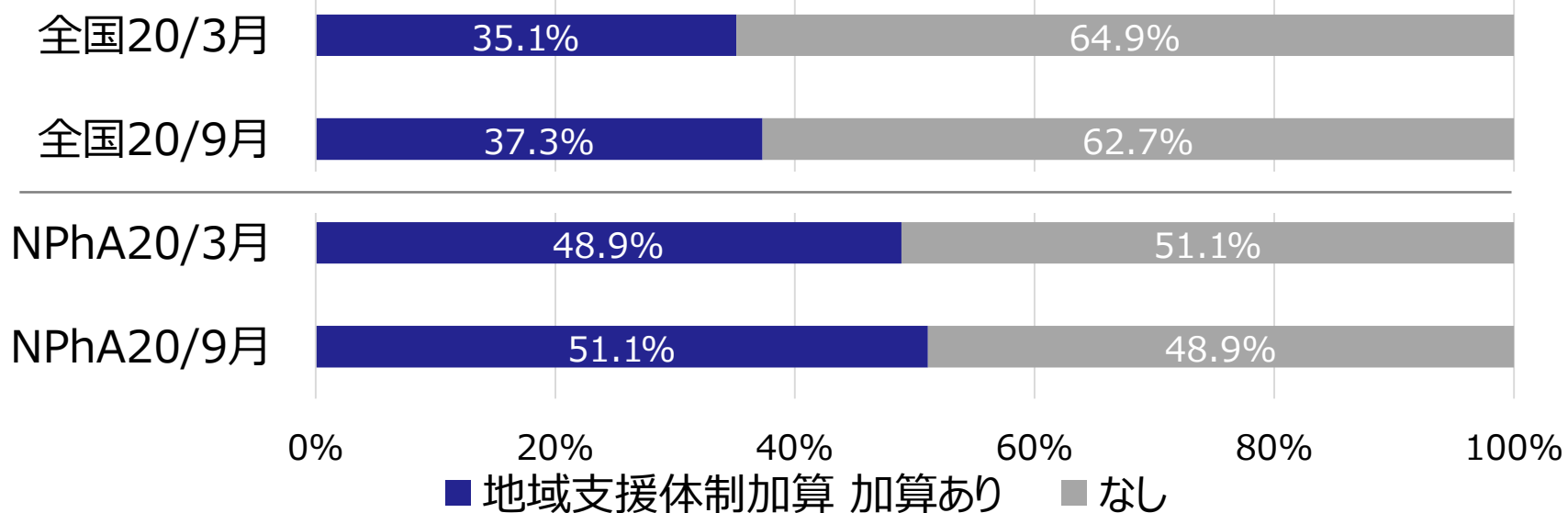
▶ 2020年3月、9月時点 厚生局届出情報よりNPhA集計  
 ▶ 「特別基本料」には、未届けにより「特別基本料」となっている薬局も含まれる

# 改定前後比較 -地域支援体制加算-

## ■ 加算率 (対 全薬局)

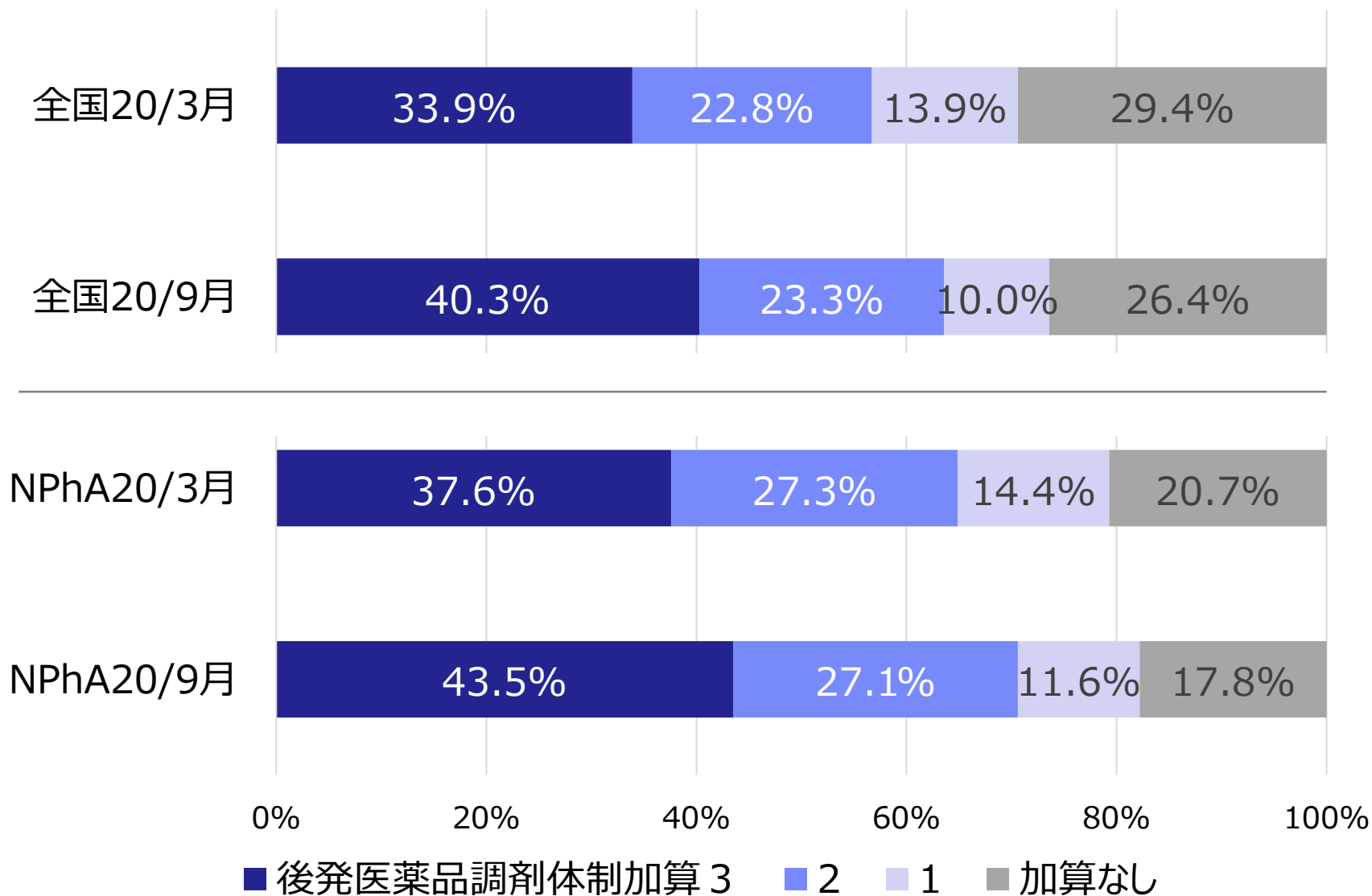


## ■ 加算率 (対 基本料 1)





# 改定前後比較 -GE加算-



▶ 2020年3月、9月時点 厚生局届出情報よりNPhA集計

## 調査2 概要

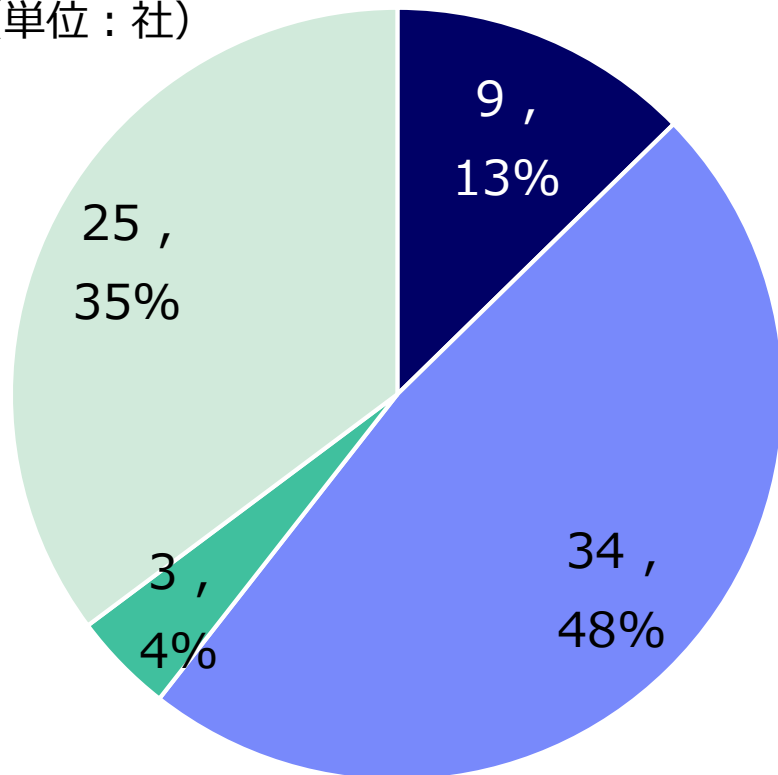
---

- 目的：各種技術料の実態を調査するため
- 内容：各種技術料及び、薬剤師数を企業単位で調査
- 方法：Webフォームへ回答
- 報告期間：2020年11月4日～11月19日
- 実施主体：NPhA 医療制度検討委員会

# 回答企業の構成

■ 回答企業月間処方箋受付回数

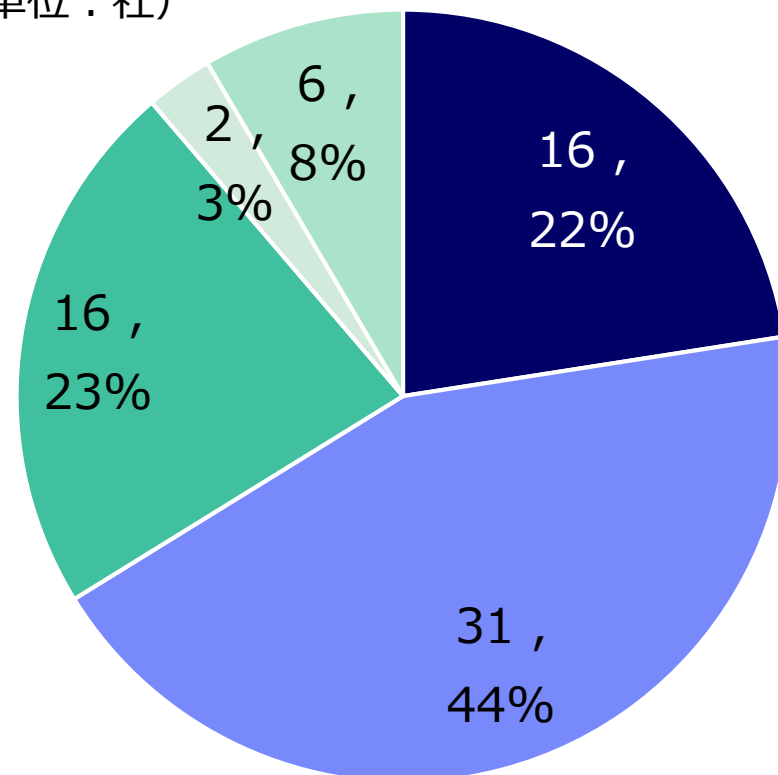
(単位：社)



- 40万回以上
- 4万~40万回
- 3万5千~4万回
- 3万5千回以下

■ 回答企業 薬局数

(単位：社)



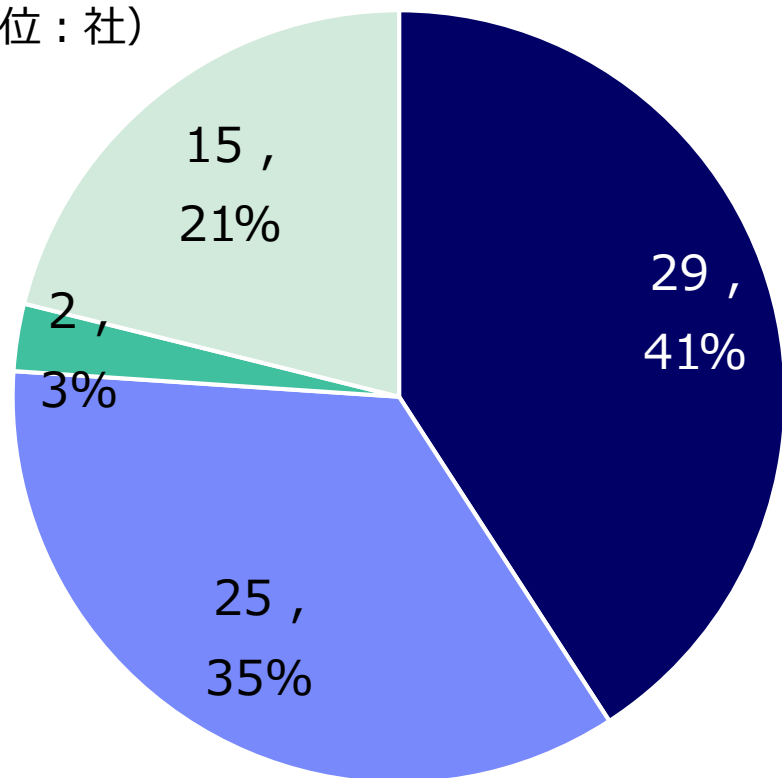
- 100薬局以上
- 20~99薬局
- 6~19薬局
- 2~5薬局

全回答数=71社 (9,278薬局、1,203万枚)

# 回答企業の構成

## ■ 同一グループ月間処方箋受付回数

(単位：社)



- 40万回以上
- 4万~40万回
- 3万5千~4万回
- 3万5千回以下

全回答数=71社 (9,278薬局、1,203万枚)

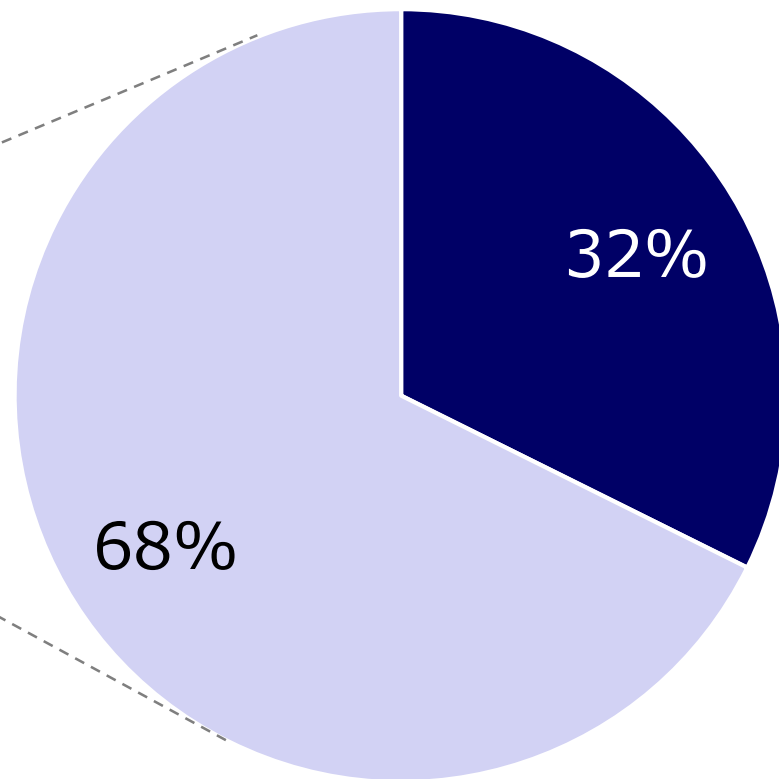
# 薬剤師の人員構成

## ■ 薬剤師数

有効回答数	62社 7,205薬局
薬剤師数（常勤換算） （1薬局当たり）	25,738人 (3.57人)*
かかりつけ薬剤師 （1薬局当たり）	8,323人 (1.15人)

▶ \* 201903かかりつけ薬剤師・薬局に関する調査報告書（みずほ情報総研㈱）より、  
1薬局当たりの薬剤師数（常勤換算）は2.8人  
1薬局当たりのかかりつけ薬剤師指導料を算定している薬剤師数は1.1人

## ■ かかりつけ薬剤師の配属状況



■ 32% ■ 68%

▶ 常勤薬剤師：実労働時間が週32時間以上の薬剤師  
総人員数は常勤換算

# 薬剤服用歴管理指導料

## ■ 改定前

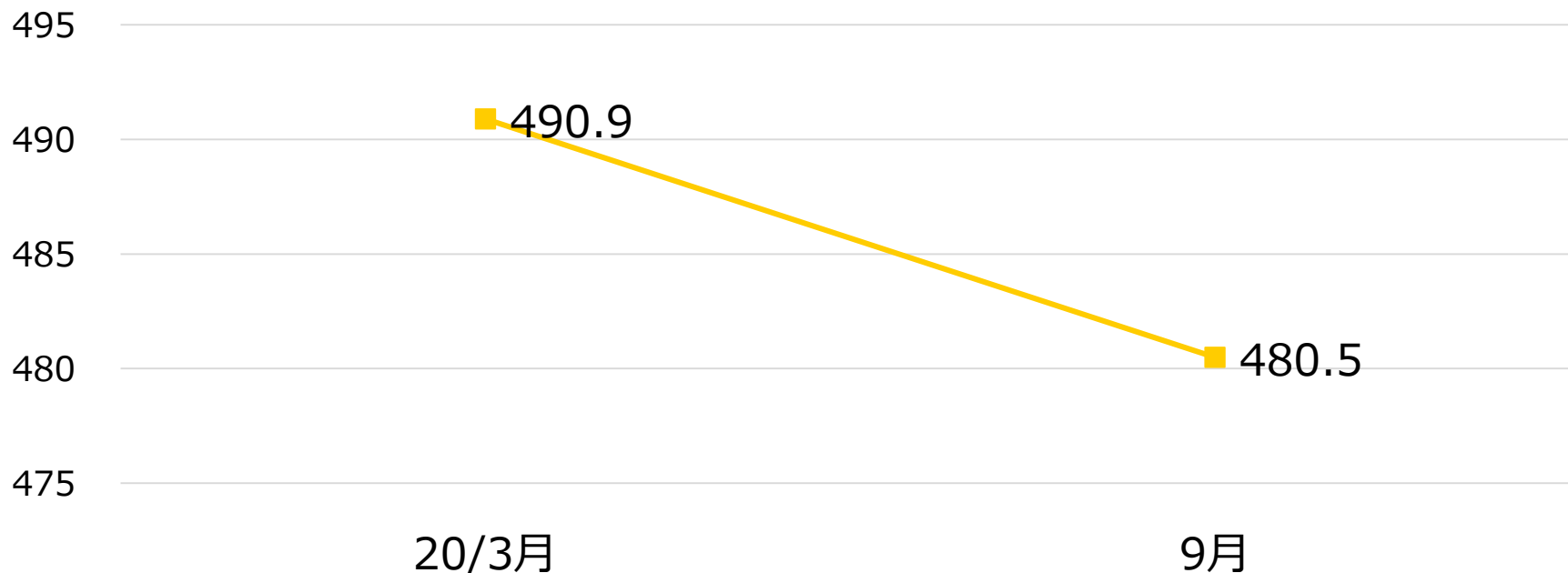
		調剤基本料 1 の薬局	調剤基本料 1 以外
6ヵ月以内の 再度の来局	手帳あり	41点	53点
	手帳なし		
再度の来局 でない	手帳あり/なし	53点	

## ■ 改定後

		調剤基本料 1 の薬局	調剤基本料 1 以外
3ヵ月以内の 再度の来局	手帳あり	43点	57点
	手帳なし		
再度の来局 でない	手帳あり/なし	57点	

(単位：円)

薬剤服用歴管理指導料単価



有効回答=45社 (6,473薬局、894万枚/月)

## 2020年度改定 新設項目

項目	20/9月 算定件数	算定薬局数	1薬局当たり
調剤後薬剤管理指導加算	167件	99薬局	1.69件
特定薬剤管理指導加算 2	558件	230薬局	2.43件
服用薬剤調整支援料 2	231件	180薬局	1.28件
吸入薬指導加算	10,722件	2,174薬局	4.93件
経管投薬支援料	34件	24薬局	1.42件

有効回答=56社（7,594薬局、1,034万枚/月）

# 既存の技術料項目

項目	NPhA 20/9月実績	全国 19/6月実績	算定率差
かかりつけ薬剤師指導料 (算定率)	203,120件 (2.14%)	855,428件 (1.31%)	0.83%
重複投薬・相互作用等防止加算 (算定率)	72,186件 (0.76%)	373,448件 (0.57%)	0.19%
服薬情報等提供料 (算定率)	28,476件 (0.28%)	31,483件 (0.048%)	0.232%
外来服薬支援料 (算定率)	2,761件 (0.029%)	9,088件 (0.014%)	0.015%
服用薬剤調整支援料 1	169件	293件	—

▶ 全国の数値：社会医療診療行為別統計データの2019年6月実績を参照



# 地域支援体制加算 実績要件の進捗状況

---

# 調剤基本料 1 における実績要件の進捗状況

## ■ 地域支援体制加算の実績要件 ※2021年4月以降より適応

次の①～③までを満たし、かつ④か⑤のいずれかを満たす

① 麻薬小売業者の免許

② **在宅の実績 年間12回以上**

③ かかりつけ薬剤師指導料の届出

④ **服薬情報等提供料の算定回数 年間12回以上**

⑤ 地域の多職種と連携する会議への参加 年間1回以上

## ■ 在宅実施薬局数

有効回答数 (A)	20/9月 実施薬局数 (B)	実施率(B/A)
57社、7,398薬局	5,024薬局	67.9%

## ■ 服薬情報等提供料の算定実績

有効回答数 (A)	20/9月 算定件数 (B)	1薬局当たり件数 (B/A)
59社、7,595薬局	28,476件	3.75件

# 調剤基本料 1 以外における実績要件

## ■ 地域支援体制加算の実績要件

次の①～⑨までのうち8つ以上を満たす

① 時間外等加算、夜間・休日等加算の算定回数が、年間400回以上

② **麻薬加算の算定回数が、年間10回以上**

**麻薬管理指導加算→麻薬加算**

③ 重複投薬・相互作用等防止加算の算定回数が、年間40回以上

④ かかりつけ薬剤師指導料の算定回数が、年間40回以上

⑤ 外来服薬支援料の算定回数が、年間12回以上

⑥ 服用薬剤調整支援料の算定回数が、年間1回以上

⑦ 単一建物診療患者が一人の場合の在宅実績が、年間12回以上

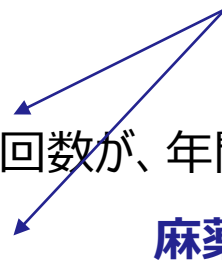
⑧ 服薬情報等提供料の算定回数が、年間60回以上

⑨ **地域の多職種と連携する会議への参加が、年間5回以上** 新設

※①～⑧は常勤薬剤師1人当たりの直近1年間の実績

※⑨は薬局当たりの直近1年間の実績

①と②の要件は、地域ごとの医療環境に左右される

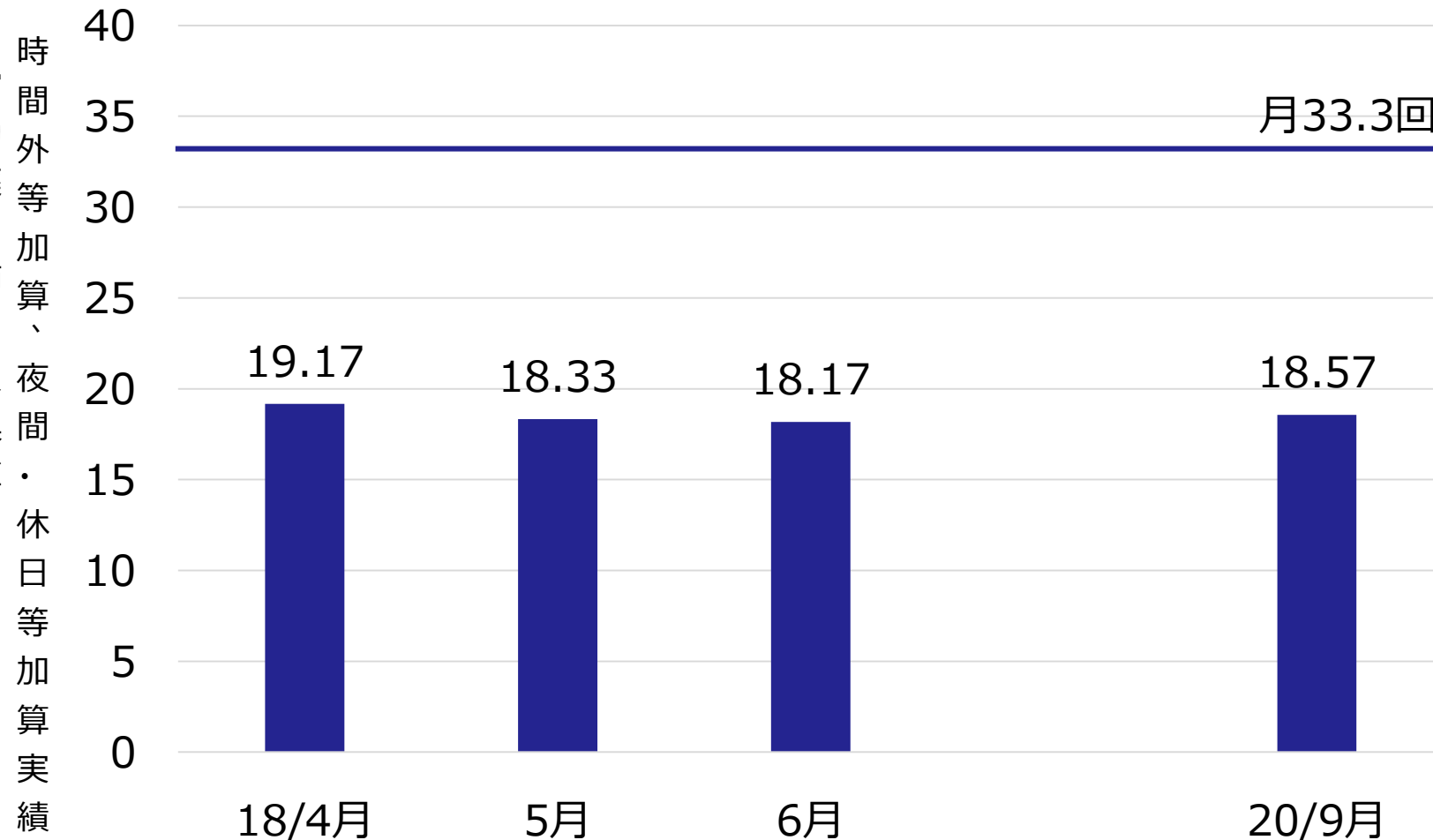


# 調剤基本料 1 以外における要件 –夜間・休日対応の進捗–

- ① 時間外等加算、夜間・休日等加算の算定回数が、  
常勤薬剤師1人当たり、年間400回以上（月33.3回以上）

(単位：回)

(常勤薬剤師1人換算)



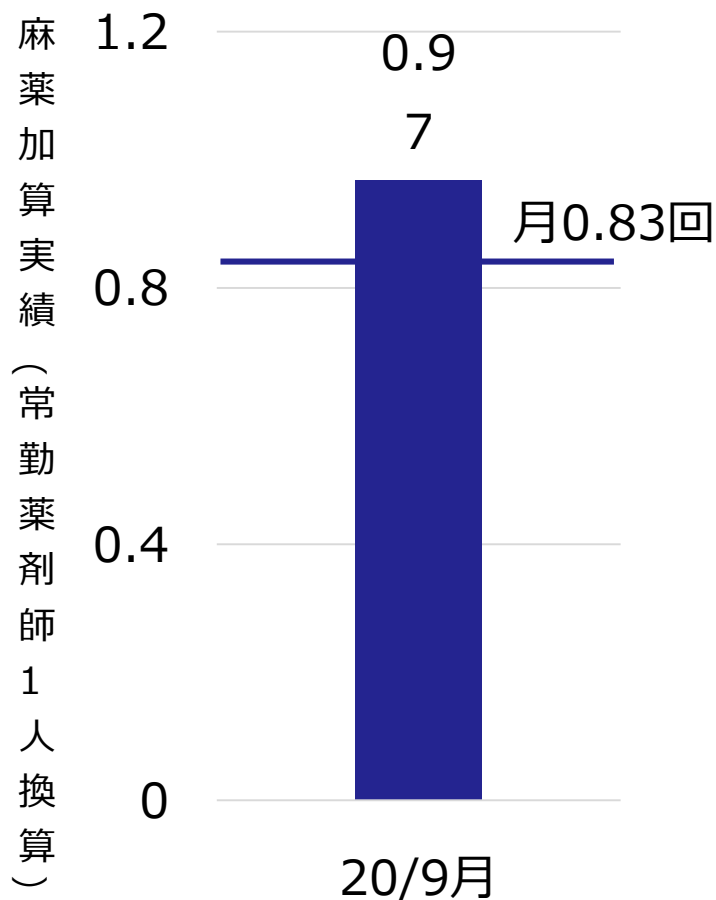
▶ 18/4月～6月の実績は平成30年度調剤報酬改定の影響度に関する調査報告書  
(NPhA医療制度検討委員会) より抜粋

有効回答=57社 (6,797薬局)

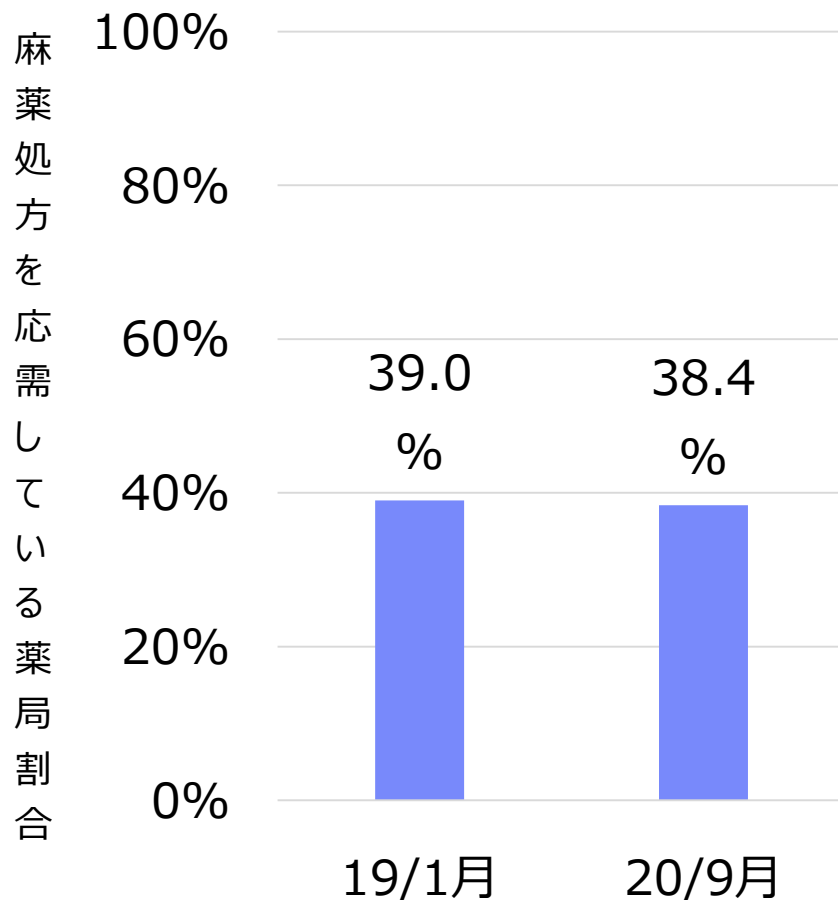
# 調剤基本料 1 以外における要件 –麻薬の進捗–

② 麻薬加算の算定回数が常勤薬剤師1人当たり、年間10回以上（月0.83回以上）

■ 麻薬加算の算定実績



■ 麻薬処方に応需している薬局割合



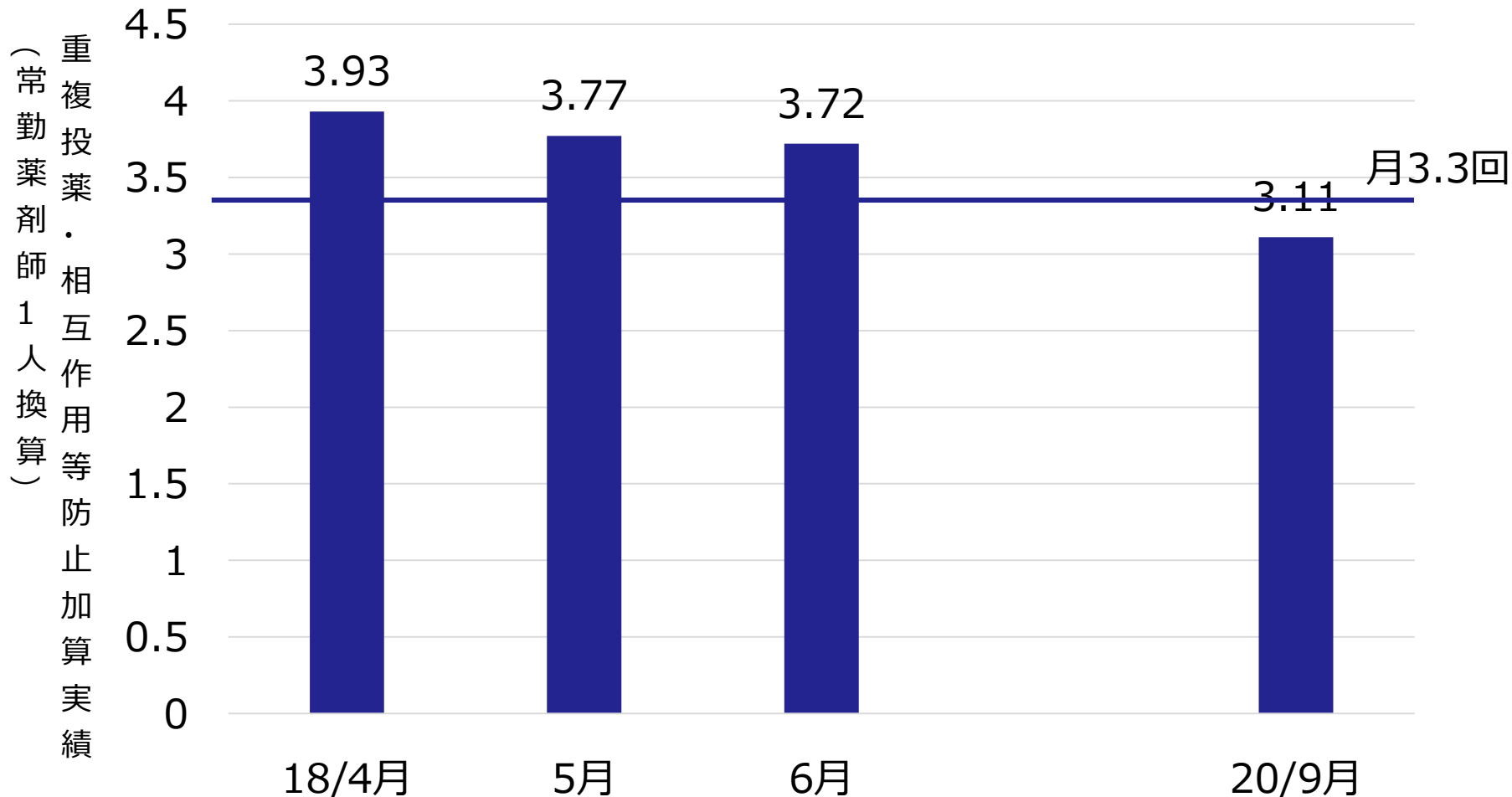
有効回答=55社（7,333薬局）

▶ 19/1月の数値は、2019年3月NPhA医療制度検討委員会WEB調査より

# 調剤基本料 1 以外における要件 –重複防止の進捗–

- ③ 重複投薬・相互作用等防止加算の算定回数が、  
常勤薬剤師1人当たり、年間40回以上（月3.3回以上）

(単位：回)



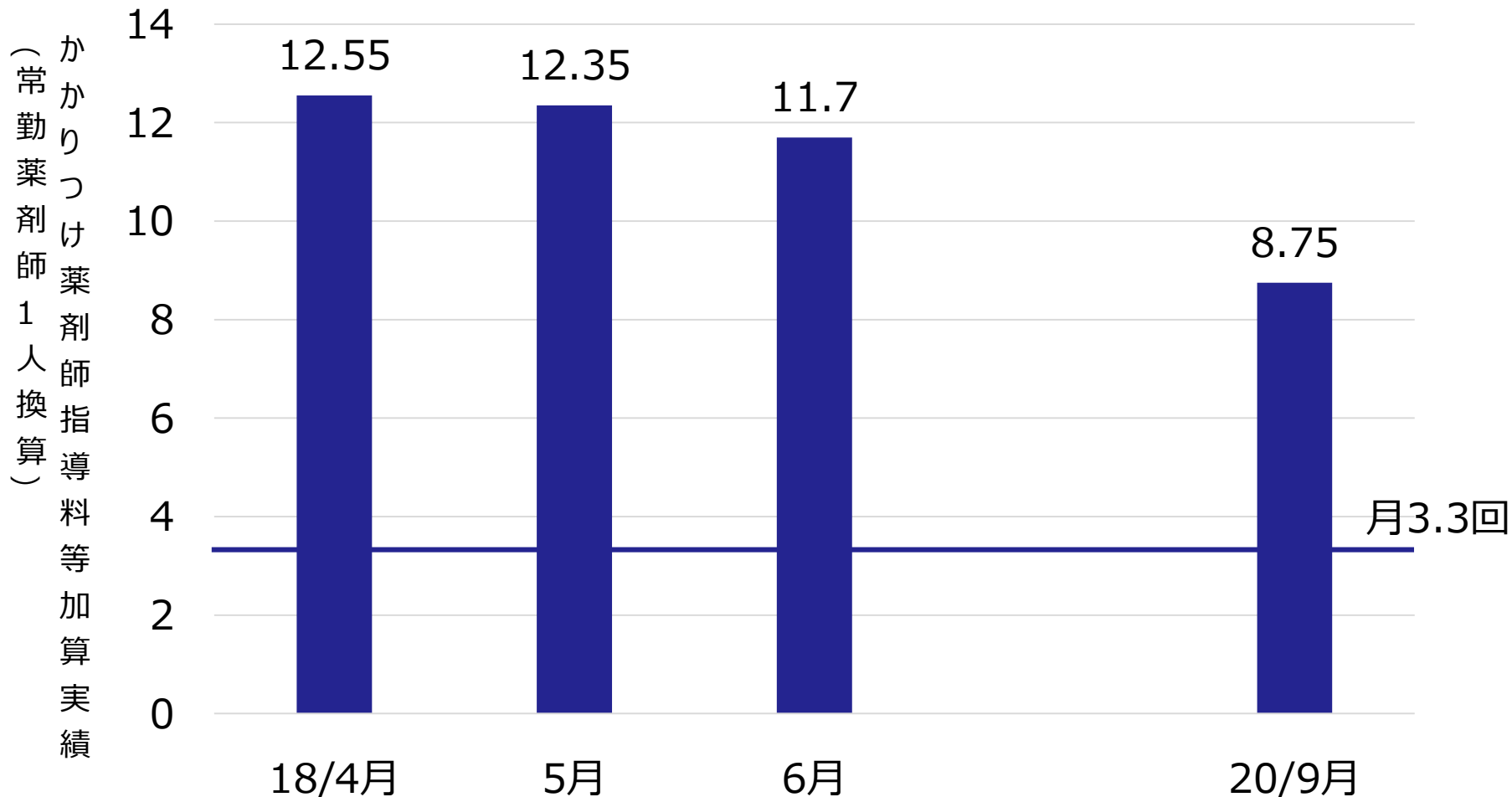
▶ 18/4月～6月の実績は平成30年度調剤報酬改定の影響度に関する調査報告書  
(NPhA医療制度検討委員会)より抜粋

有効回答=58社 (6,914薬局)

# 調剤基本料 1 以外における要件 -かかりつけの進捗-

- ④ かかりつけ薬剤師指導料等の算定回数が、  
常勤薬剤師1人当たり、年間40回以上（月3.3回以上）

(単位：回)



▶ 18/4月～6月の実績は平成30年度調剤報酬改定の影響度に関する調査報告書  
(NPhA医療制度検討委員会)より抜粋

有効回答=58社 (6,914薬局)

# 調剤基本料 1 以外における要件 - 外来服薬支援の進捗 -

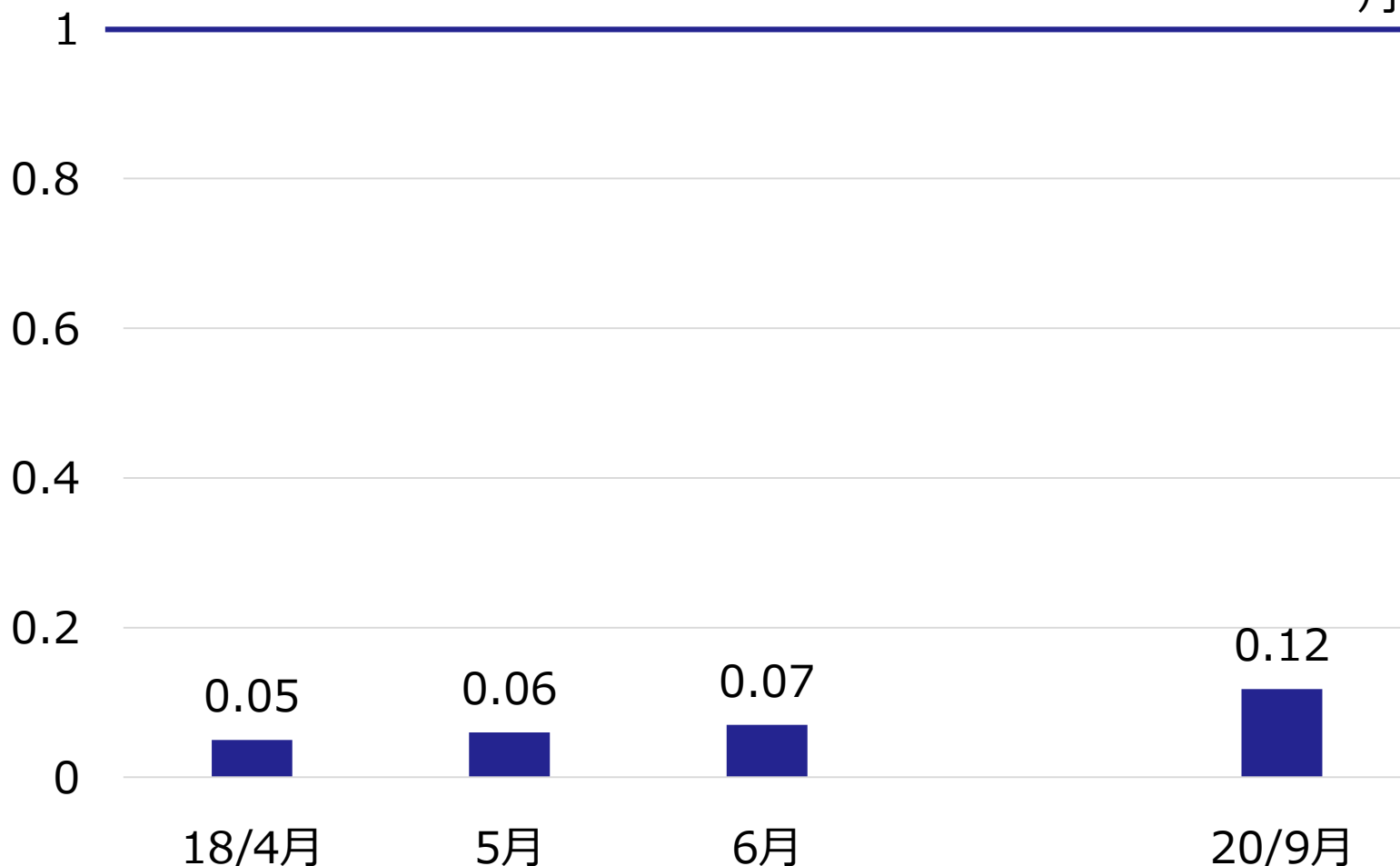
⑤ 外来服薬支援料の算定回数が常勤薬剤師1人当たり、年間12回以上（月1回以上）

(単位：回)

月1回

1

(常勤薬剤師1人換算実績)



▶ 18/4月～6月の実績は平成30年度調剤報酬改定の影響度に関する調査報告書 (NPhA医療制度検討委員会) より抜粋

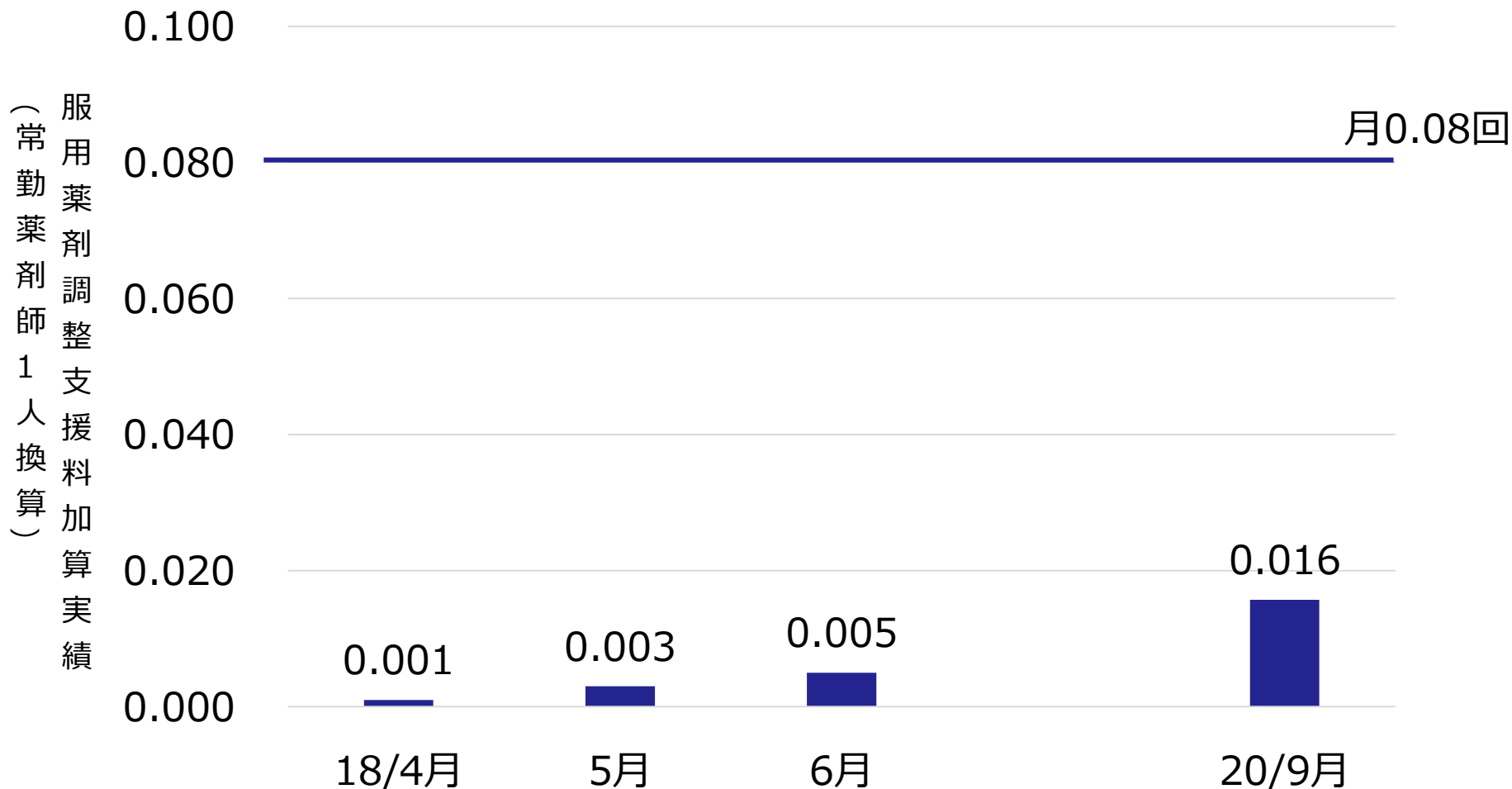
有効回答=58社 (6,914薬局)



# 調剤基本料 1 以外における要件 –服用薬剤調整の進捗–

⑥ 服用薬剤調整支援料の算定回数が  
常勤薬剤師1人当たり、年間1回以上（月0.08回以上）

（単位：回）



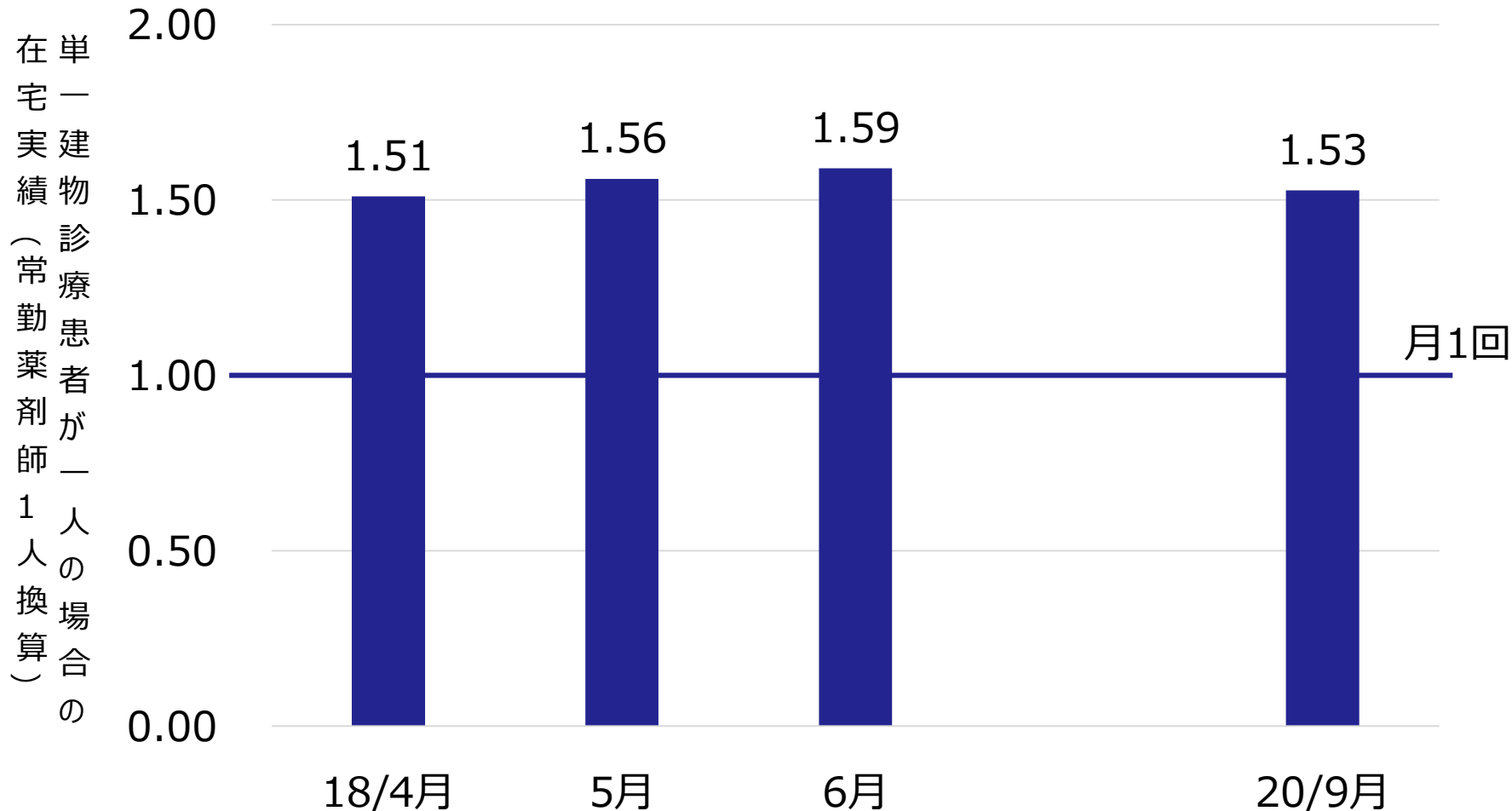
▶ 18/4月～6月の実績は平成30年度調剤報酬改定の影響度に関する調査報告書  
(NPhA医療制度検討委員会)より抜粋

有効回答=61社（7,694薬局）

# 調剤基本料 1 以外における要件 -在宅の進捗-

- ⑦ 単一建物診療患者が一人の場合の在宅実績が、  
常勤薬剤師1人当たり、年間12回以上（月1回以上）

(単位：回)



▶ 18/4月～6月の実績は平成30年度調剤報酬改定の影響度に関する調査報告書  
(NPhA医療制度検討委員会)より抜粋

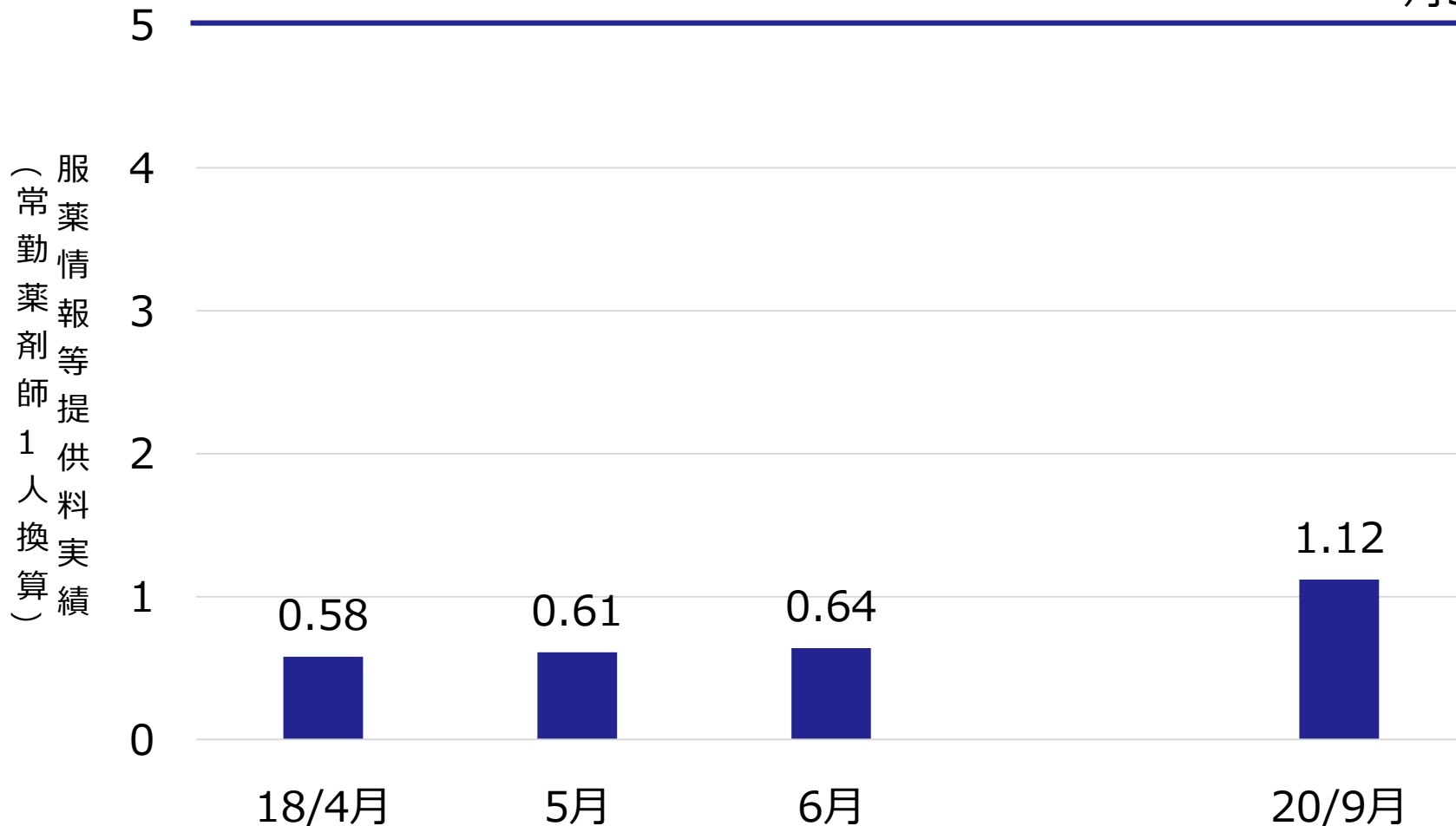
有効回答=49社 (7,257薬局)

# 調剤基本料 1 以外における要件 –服薬情報等提供料の進捗–

⑧ 服薬情報等提供料の算定回数が、  
常勤薬剤師1人当たり、年間60回以上（月5回以上）

(単位：回)

月5回



▶ 18/4月～6月の実績は平成30年度調剤報酬改定の影響度に関する調査報告書  
(NPhA医療制度検討委員会)より抜粋

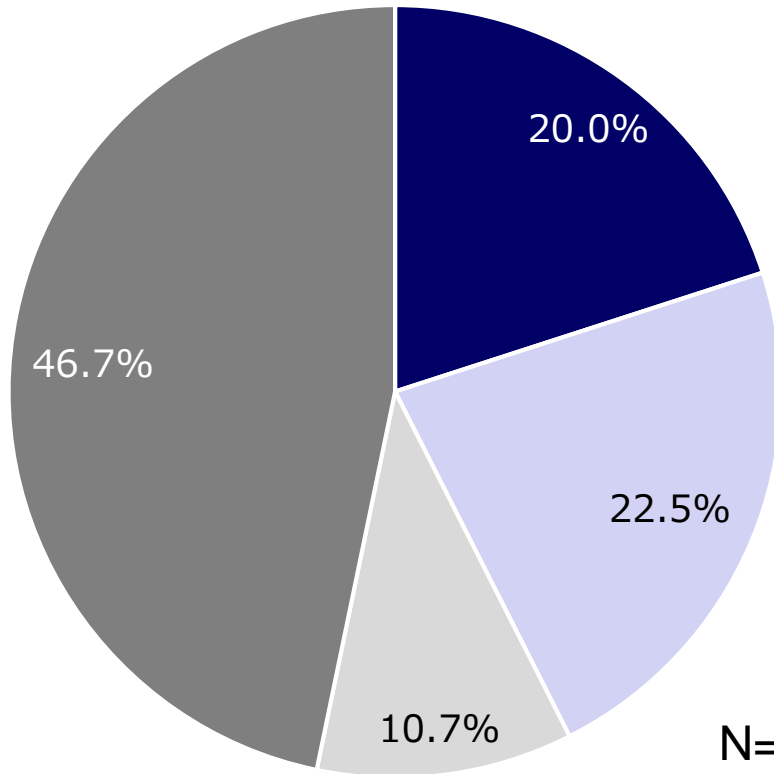
有効回答=58社 (7,591薬局)

# 調剤基本料 1 以外における要件 -地域の会議への参加-

## ⑨ 地域の多職種と連携する会議への参加が、年間5回以上

### ■ 地域ケア会議への参加機会

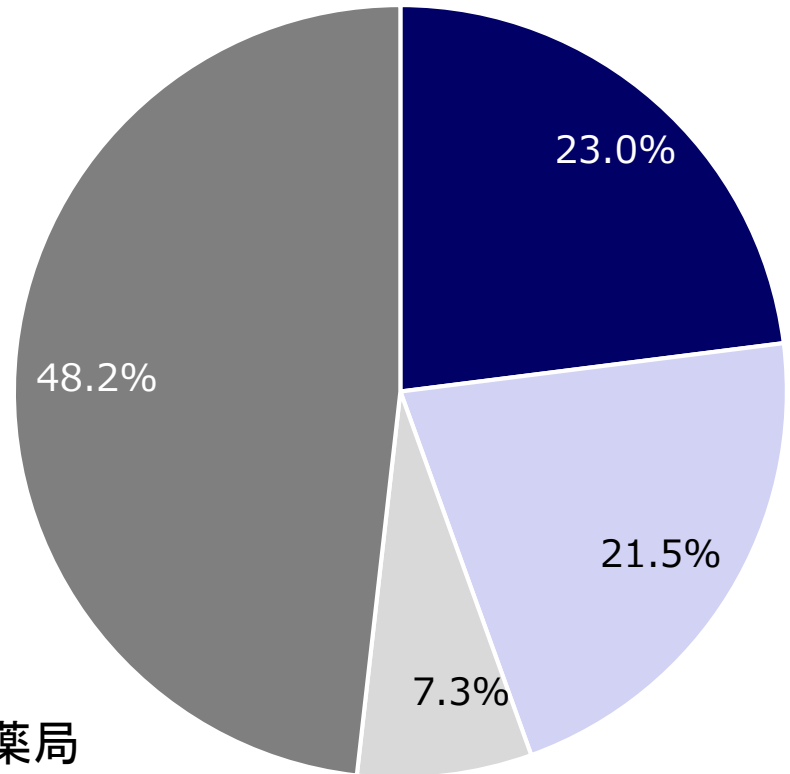
○ある…777件 ○ほとんどない…873件  
○ない（予定はある）…417件  
○ない（予定もない）…1,814件



■ ある  
■ ほとんどない  
■ ない（予定はある）  
■ ない（予定もない）

### ■ サービス担当者会議への参加機会

○ある…891件 ○ほとんどない…836件  
○ない（予定はある）…282件  
○ない（予定もない）…1,872件



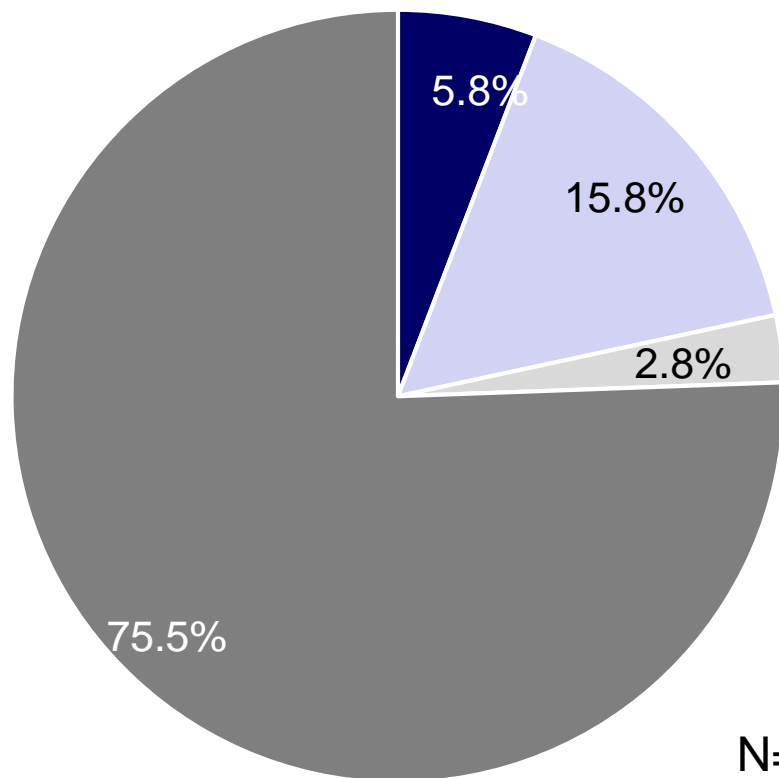
■ ある  
■ ほとんどない  
■ ない（予定はある）  
■ ない（予定もない）

N=3,881 薬局

⑨ 地域の多職種と連携する会議への参加が、年間5回以上

■ 退院時カンファレンスへの参加機会

○ある…226件 ○ほとんどない…614件  
○ない（予定はある）…109件  
○ない（予定もない）…2,932件



N=3,881 薬局

- ある
- ほとんどない
- ない（予定はある）
- ない（予定もない）

# オンライン服薬指導

項目	20/9月 算定件数	算定薬局数
薬剤服用歴管理指導料4 (情報通信機器を用いた服薬指導)	12件	10薬局
在宅患者オンライン服薬指導料	6件	6薬局

有効回答=59社 (7,595薬局)

## 調査結果より

- 厚生局届出情報や各種技術料算定状況より、薬局機能は向上傾向にある
- 現状の実績で十分ということはないが、NPhA加盟薬局は、全国平均と比較すると、各種届出、技術料算定率が高い
- 調査結果から、調剤基本料 1 とそれ以外とで、地域支援体制加算の算定に求められる要件の高さの違いが実態として良くわかる
- その中でも特に、夜間・休日対応や、麻薬加算実績に関しては、地域の医療環境に左右されるところが大きく、薬局の取り組みによって伸ばすことは難しい項目である